

アンケート結果に対する意見交換内容の要約

アンケート調査：令和3年3月実施

アンケート結果についての意見交換：令和3年11月～令和4年1月実施

【『にも包括』に向けて飯塚圏域における課題】

- 交通の便が悪く、買い物などの生活面や通院に支障がある。
- バスの乗り継ぎが困難、分かりづらい。
- 未受診の方の対応、現状見守るしかできない。
- 依存症の方の利用する場所やプログラムが少ない。
- ボランティアをしたいときに相談できる場所や受け入れてくれる場所がない。
- 親亡き後の心配（8050問題）。
- 表に現れていない精神障がいの方の状況把握。
- 障がいへの偏見、ネガティブな印象があるためなかなか相談に繋がらない。
- 賃貸契約時に障がい者ということで断られたり、保証人がおらず契約できない。
- 親としては一人暮らしへのハードルが高い。
- 長期入院の方の地域移行。

【取り組みそうなこと・手立て】

- ◎西鉄バスや交流バスなど全交通手段を網羅した乗り継ぎアプリの開発。
- ◎アクションで生活保護を受けている方について、自助グループへの交通費の支給。
- ◎就労C型や就労Z型など新たな就労のカタチの摸索。
- ◎地域住民向けの研修会を開催し、障がい者の社会参加を進める。
- ◎民生委員さんとの情報共有や意見交換の実施。公民館での出前講座の実施。
- ◎精神障がいや依存症の勉強会の開催。
- ◎親亡き後の備えについてリーフレットの検討。
- ◎大家さんや不動産と話し合いの場を作る。
- ◎グループホームから地域へ移行した方の話を聞く機会を作る。
- ◎精神障がいを抱える当事者の方の話を聞ける機会を作る。
- ◎地域移行支援、地域定着支援の活用。